モーセの仰ぎ見るテムナーとは何か

民数記1–36章における構造分析

長谷川忠幸 著

民数記の統一的神学を再構築した画期的な書！

人口登録、特殊な律法、反抗の物語、旅程、詩文等が、一見不可解な配列を見せる民数記。従来の資料分析では見えなかったその独特な文脈を解明し、テキスト全体に意図された「主の姿（テムナー）」を軸として展開される、壮大な神学的主張に迫る。

著者紹介　**長谷川忠幸**　1973年鳥取県境港市生まれ。東北学院大学文学部基督教学科卒業。日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団中央聖書神学校卒業。東京神学大学大学院（聖書神学専攻）修士課程修了。神学博士（東京神学大学）。日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団境港キリスト教会牧師。
訳書　J. F. D. クリーチ著『ヨシュア記』（現代聖書注解）（日本キリスト教団出版局、2006年）、W. ブルッゲマン『旧約聖書神学用語辞典』（共訳、日本キリスト教団出版局、2015年）。

A5判・上製・416頁・定価6,820円（本体6,200円+税）ISBN978-4-7642-7459-4　C3016